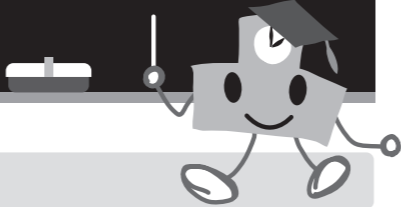


小学校の事例 白石区 北白石小学校

総合的な学習の時間に環境やエコについて学習し、環境保護活動の意義を理解。

学年ごとにテーマを決め調べていく。全校でもリングプル収集や牛乳パックリサイクルに取り組みながら環境について学ぶ。学年が上がるごとに理解が深まりつながる学習に。



内容 3～6年生が身近なところから環境学習

本校では、3～6年生が総合的な学習の時間に、学年ごとにテーマを決め、環境やエコについて学習している。下記にその取組を紹介する。

3年生…調べよう「北白石のごみ」

市のごみの分別方法、また、収集後どう処理されているのかを調べる。調べたものはポスターにまとめ、教室に掲示している。

4年生…調べよう「川について」

おもに、近くの望月寒(もつきさむ)川の観察を行っている。時には、下水処理場や清掃工場へ見学学習に行き、下水や雨水をきれいにする仕組みなど、水について説明を受けることも。今後は、ゲストティーチャーとして、地域の方に協力をお願いしたいと考えている。



一般ごみと資源ごみに分別

5年生…エコエコにここ大作戦

リングプルが車いすに、ペットボトルのキャップがワクチンに交換されることなどを、2～3人のグループごとに調べる。調べた内容はポスターにまとめ、多目的室に設置された各ブースに掲示。そのポスターの前で説明を行うワークショップ形式で発表している。5年生全体で行っている。平成22年はこの発表と日時が近かったということで参観日に実施。普段とは違う雰囲気の中で、子供たちは緊張感を持って発表していた。

6年生…地球の環境を考えよう

オゾン層破壊、酸性雨、割り箸のために大量の木が伐採されていることなどの地球規模の環境問題を、自分たちの身近な所から考える。グループごとにテーマを決め、インターネットや図書室の本などで調べ、ポスターにまとめて各学級で発表。その後は、学級前の廊下に掲示している。



リングプル収集を呼びかけるポスター

今後 取組の背景を理解し 発展的な学習に

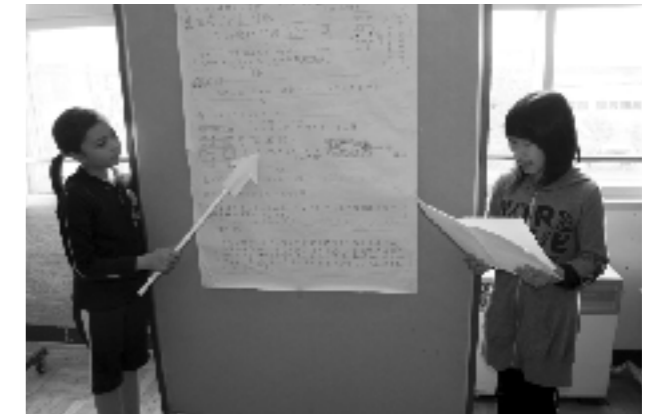
本校では、リングプルの収集や、牛乳パックのリサイクルにも取り組んでいる。牛乳パックから紙すき作業ではがきをつくる活動を行い、リサイクルを自らの手で行う体験も行っている。総合的な学習の時間にこうして環境を学習することで、リングプルが車いすに交換されることや、牛乳パックがトイレペーパーにリサイクルされるという、その取組の目的を理解することができる。「自分たちの行っていることが、本当に役に立っているんだ」と実感もできる。

平成22年度は、4年生は川、6年生は地球規模と、3～6年生へと発達段階に応じ、テーマを変えて学習することで、様々な視点から環境について考えることができる。特に、地球規模の環境問題については、3年生のときには気付かなかったことを、6年生になって理解できるようになるということがあるかもしれない。

今後も、工夫できることを自ら見つけ、実践し、発信していくことを目標に、自分たちの身近なところから環境学習を進めていきたい。

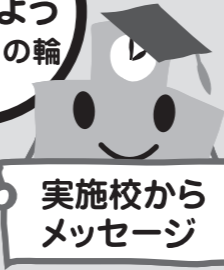


4年生 紙すき体験



5年生 ワークショップ

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



実施校から
メッセージ

旅行業者からの提案で、修学旅行で6年生が朝市での売り子体験(30分間)をすることになり、試食製品を各自観光客の方に食べてもらうために店頭立ち、呼び込みのお手伝いをしました。それぞれ子どもの個性があり、すぐに声をかけられる子、なかなか声を出して呼びかけられない子がおり、苦手な子も前向きに取り組むことが出来るよう、練習をする、声かけを工夫するなど教員がどうフォローしていくかを考える必要があったと感じました。

このような体験をとおして、自分の商品(思い)を相手に伝える事の大変さを理解でき、中学校の一日店員(職業体験)の前段階としても意義があると思います。普段から、総合的な学習の時間などを活用し、発表することや人に自分の思いを伝える機会を増やし、自主的な活動や体験的な学習を深めていきたいと思っています。